

特定非営利活動法人 国際社会人剣道九州クラブ会報



INTERNATIONAL GOODWILL KENDO CLUB

2018年45号（平成30年2月）

# 剣志

KEN SHI

発行者 九州地区クラブ

会長 加野 資典

幹事長 佐藤 博喜

ホームページアドレス <http://www.npo-igkc.or.jp> eメール [nakamichi3303@outlook.jp](mailto:nakamichi3303@outlook.jp)

「梅のさく 門は茶屋なり よきやすみ」

正岡 子規

「三日月は そろぞろ寒は さえがえる」

小林 一茶



第23回冬季オリンピック「平昌大会」（韓国）が9日に開会式が行われ、25日までの16日間7競技、102種目の氷上での熱い、熱い戦いが繰り広げられます。

当九州地区クラブの2月例会は翌日（10日）気温7℃、雨天にもかかわらず27名の参加があり久留米温泉（湯の坂道場）にて開催しました。

今回から5月の京都審査会（剣道）の為に「日本剣道形」の稽古をしました。自由参加にもかかわらず19名の参加がありました。（講師は尾方正照先生（範士八段）と野口慎一郎先生（範士八段））

最初に尾方範士より「日本剣道形」の重要性について話をし頂き、稽古上の着眼点として①目付、呼吸法等を心得、終始充実した氣勢、気迫を持って稽古する事。②太刀の形、小太刀の形において打突の時機、打突部は適切であるかを常に考えて稽古する事。③理合を熟知し、技に応じた打突の度合い、緩急強弱を心得一拍子で行う事等を話をされました。続いて、野口範士より立会の作法、木刀の握り方、置き方等を話して頂き、1本目から両範士の模範演技を見ながら注意事項を丁寧に指導して頂きました。時間の関係より3本目までしか出来ませんでした。二人の範士より指導して頂くことは他地区には無い事ではなかろうかと感謝致しております。本当に有難うございました。



両範士の指導

「日本剣道形」の稽古後、午後三時より通常の例会（稽古会）を開始しました。  
最初の30分は会員同士の相互稽古、残りの1時間は八段の先生方より指導稽古をして頂きました。



相互稽古



八段の先生方の指導稽古

5月の京都での審査会も近いいため会員の皆様も気迫に満ちた充実した稽古をしてあり、それにも増して八段の先生方のご指導が熱心にされてありました。得る物の多き稽古会ではなかったかと思いません。稽古会後には温泉に入り、疲れを取り散会しました。

## 平成30年2月例会のご報告

### 稽古会

日時：平成30年2月10日(土) 13:00~15:00  
場所：久留米温泉道場（湯の坂道場）  
久留米市野中町湯の坂 1235 番地 ☎0942(33)4126

稽古会出席者 : 27名 (敬称略・順不同)

尾方 正照	野口慎一郎	小島 良守 (八段の先生方)			
加野 資典	大塚 勝也	佐藤 博喜	秋山 勝年	大隈 光夫	
西田 耕陽	八郷 清孝	松崎 文雄	小川 金吾	松田 光正	
小川 邦昭	西見 秀俊	溝口 勝正	田中 正	槁本 正照	
松田 幸治	小島 公生	青沼 一博	國廣 博史	祐田 斉	
渡邊 寛二	武田 耕次	中道 政生	福嶋 (オブザーバー)		

### (会計報告)

収入の部		0円
支出の部	8段の先生方の交通費	27,000円
	道場使用料(湯の坂温泉道場)	5,000円
	八段の先生稽古後の飲み物	420円
	合計	32,420円

## 平成30年3月役員会・総会・例会のご案内

### ① 役員会

日時 : 平成30年3月24日(土) 12:00~13:30

場所 : 久留米温泉会議室

久留米市野中町湯の坂 1235 番地 ☎0942(33)4126

※昼食は準備致します。

### ② 総会

日時 : 平成30年3月24日(土) 13:30~14:30

場所 : 久留米温泉道場(湯の坂道場)

### ③ 稽古会

日時 : 平成30年3月24日(土) 15:00~16:30

場所 : 久留米温泉道場(湯の坂道場)

久留米市野中町湯の坂 1235 番地 ☎0942(33)4126

※時間があれば「日本剣道形」の稽古をする予定です。

#### 《連絡事項》

- ① 通常、毎年役員会は2月に開催しておりますが、今年は諸般の事情にて3月総会の前  
に開催しますのでお間違えの無い様をお願い致します。昼食の準備がありますので同  
封しています返信用のハガキにて出欠のご連絡宜しくお願い致します。
- ② 3月例会の前、午後1時30分より総会を開催致します。平成29年度の行事結果報告、  
会計報告、平成30年度の行事予定、会計予算案等の議題がありますのでご出席の方お  
願い致します。尚、当日出席出来ない会員の皆様は、同封しています出欠ハガキの  
「委任状」に署名(捺印)してご返信をお願い致します。
- ③ 以前よりお願い致しております年会費の件ですが、残念ながら全納でなく2名の会員  
の方が未納となっています。2名の方には再度振込用紙を送付しますので、ご確認願

ます。確認して頂き既に振込済の方は事務局までご連絡下さい。また本紙と行違いに振込してありましたらご了承下さい。

- ③ 来年（平成 31 年）11 月の全国例会は当九州地区クラブの担当です。幹事長を中心に準備が多忙になるかと思いますが、会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。また、個人戦、団体戦の 1 本勝負の試合が有ります。優勝目指して稽古の方も宜しくお願いします。

## 会員の皆様の投稿 COLUMN(コラム)

会員の皆様が自由に投稿して頂くコラムです。

今回は沖縄県在住の奥島憲彦先生（外科医）の投稿です。

※「私と剣道」は今回お休みします。



全国例会に

### ねんりんピック秋田 2017 に参加して

ハートライフ病院外科

奥島憲彦

沖縄県剣道連盟から「ねんりんピック秋田 2017」に沖縄県代表(5 人)として参加しないかという有難いお話がありました。沖縄県では毎年、60 歳以上の東西対抗試合を「ねんりんピック沖縄」として行っており、前年度の試合を参考に剣道連盟が派遣選手を決定しています。

県によっては毎年、代表決定戦を行って決定している県もあるようです。「ねんりんピック」は健康長寿を目指して厚生労働省が主催して毎年、各県持ち回りで 60 歳以上の選手が参加して各種競技が行われるミニ国体のようなものです。「終始団体行動で、個人行動や離団は許さない」という注意がありました。そこで同僚やスタッフ、患者さんをお願いし土、日を含め 5 泊 6 日の休みをなんとかとることができました。沖縄県剣道連盟からは県立武道館の稽古の前に会員の前で壮行会と激励金を頂戴しました。県によっても競技によっても補助金が異なるようですが、今回、私は総費用の半額が自己負担でした。

沖縄選手団は総勢 110 人、おそろいのジャージ姿で那覇空港を出発しました。新聞社やテレビの取材がきていました。1 日目は全員、男鹿温泉に宿泊し「なまはげ」などの秋田の伝統芸能を堪能すると同



時に選手団の団結を図りました。剣道、テニス、卓球、ソフトボール、マラソン、ダンスなどなじみの種目以外にゲートボール、グランドゴルフ、ペタンクなど高齢者に人気の種目、さらには囲碁、将棋の選手も参加しておりました。沖縄県の最年長選手は86歳のゲートボールの選手で大変お元気で、明るくお酒も強く健康長寿のお手本のような方でした。

9月9日は秋田市の陸上競技場で総合開会式があり全国から参加した1万人余の選手団が皇族、鈴木大地スポーツ庁長官、厚生労働省副大臣、県知事など列席のもと行進を行いました。沖縄県は「ランの花」を右手に掲げて観客の前を行進しました。オリンピックレスリングの金メダリストが聖火走ってきて聖火台に火をともしました。グランドでは秋田の四季のマスゲームや秋田の祭り（竿灯祭）が繰り広げられさながらミニ国体、ミニオリンピックの様相でした。会場で熊本県代表で熊大の2年後輩の石丸隆久君（建築家）と会い、互いの健闘を誓い合いました。

その後、バスで長時間移動し、由利本荘市で剣道は行われました。剣道は7段以下の参加で大将が70歳以上、副将が65歳以上、後は60歳以上で年齢の若い順に先鋒から並べる決まりです。私は沖縄県一の中堅でメンバー中3人は警察で長年鍛えた先生方で国体など県代表の経験の豊富な先生方でした。5人全員が7段、教士でした。期間中、5人は同室で寝泊まりし、食事も共にし、終始団体行動でした。剣道の稽古はついていくのがやっとでした。夕食後は「さあ、寝ようか」と思うと、それから毎晩飲み会があり、皆さんお酒が強く、大学生時代の合宿を思い出しました。おかげでお酒の全く飲めない私も酒をつぐのが上手になりました。しかし、剣道に関して大変貴重な体験談などがうかがえ楽しいひと時を過ごすことができました。大会には各県と政令指定都市など全国から70チームが参加しました。4チームのリーグ戦で2試合を行い、1チームが決勝トーナメントにすすみました。医師では札幌市の代表で池澤清豪先生（整形外科医、東京医大卒、教士7段）も参加されていました。沖縄県は初戦は新潟県と戦いました。私は引き分けて、チームは1対2で負けました。2試合目は徳島県で私は2本負けでチームは2対1で勝利しました。3チームが1勝1敗でならびましたが、結局、徳島県に負けた新潟県が本数の差で決勝に進出しました。私は1本も取れずにチームに貢献できず、かえって足をひっぱってしまって大変申し訳ない思いをしました。久しぶりの試合で私としては必死に戦いましたが、「1本取られないようにしよう」という消極的な考えが途中で頭をもたげ、「何が何でも1本取る、リスクをおかしても1本とりにいく」という気迫に欠けていたと反省しました。身を捨てて打ち込む勇気が足りなかったと思いました。仕事柄、週1回程度、数人で30分の基本稽古のみの稽古をこの数年間行ってきましたが「初太刀の1本は必ずとる」という厳しい稽古ができていなかったと思いました。また、県立武道館の稽古にもほとんど参加できておらず、高段者の先生に稽古をお願いし「気をいただく稽古」が足りなかったと思いました。これらの反省を今後の稽古の際の励みにしたいと考えています。今回、ねんりんピック秋田2017に参加して70歳代でも元気に試合をされている先輩方の姿を拝見し、剣道の良さを改めて認識すると同時に、自分も「生涯剣道」を実践していきたいと強く感じました。また、剣道のおかげで沖縄県からはめったに行く機会のない秋田県の観光も楽しむことができました。沖縄県では2年連続の選手としての参加はできないようです。ねんりんピック2018年は富山県、2019年は和歌山県で開催されます。

是非、60歳以上の剣友の皆様は奮ってご参加ください。